



企業局の施設

県企業局には、水道用水供給事業があります。この事業は、市町村などへ水道用水を広域的に供給するもので、いわば水の卸売業の役割を果たしています。家庭や学校などの地域社会に直接給水を行うのは市町村の事業です。

本島のほとんどの市町村は独自の水源を持たないことから、県企業局がダムや河川などから取水し、浄水処理した上でこれらの市町村に水道用水を供給しています。

久志浄水場



久志浄水場は名護市東海岸にあり、1日当たりの処理能力35万1,400m³を有する県下最大の上水道と工業用水道の共同施設となっています。

国管理の北部ダム郡及び北部河川を水源とし、上水道の原水を石川、北谷、西原浄水場へ送水し、工場へ工業用水も供給しています。

名護浄水場



名護浄水場は、本島北部の名護市にあり、1日当たりの処理能力は2万7,000m³の施設となっています。

主に平南川、源河川を水源とし、供給しています。

西原浄水場



西原浄水場は、本島中部の西原町にあり、1日当たり16万500m³の処理能力を有する浄水場となっています。

福地ダムなどの北部ダム郡を水源とし、久志浄水場で沈殿処理された水を、西原浄水場で浄水処理し、供給しています。

北谷浄水場



北谷浄水場は、本島中部の北谷町にあり、1日当たり21万4,300m³の送水能力を持ち水道用水では県下最大規模の浄水場です。また、水道水の安定供給を図るため海水淡水化施設を有しています。

水源は、西系列河川、中部河川、倉敷ダムなどで浄水された水と海水淡水化水をブレンドして、供給しています。

石川浄水場



石川浄水場は、企業局の現在ある浄水場の中では一番古い施設です。1日当たり15万m³の水道用水を供給することができます。

久志浄水場の処理水と漢那、金武、山城の各ダム及び北部河川水を水源とし、供給しています。

新石川浄水場建設事業完成予想図



(うるま市石川東恩納地先)

1日当たり16万5,600m³の施設能力を持つ新石川浄水場として拡張移転するため、建設事業を進めています。これにより、県の水需要の増大に対しても安定した供給が確保できるようになります。

水質管理事務所



水質管理事務所は、安全で安心して飲める水を供給するため、浄水の水質検査及び水源となっているダム水や河川水、地下水などの原水の検査を行っています。

水管理センター



県企業局の水に関する様々な情報を管理し、各市町村に必要な水量を効率的に供給するための各浄水場の中枢業務、緊急災害時における情報拠点として中心的な役割を担います。

お問い合わせ【県企業局総務企画課】 TEL.098-866-2803 FAX.098-866-2819

沖縄県の水道

いつでもきれいな水をとどけます

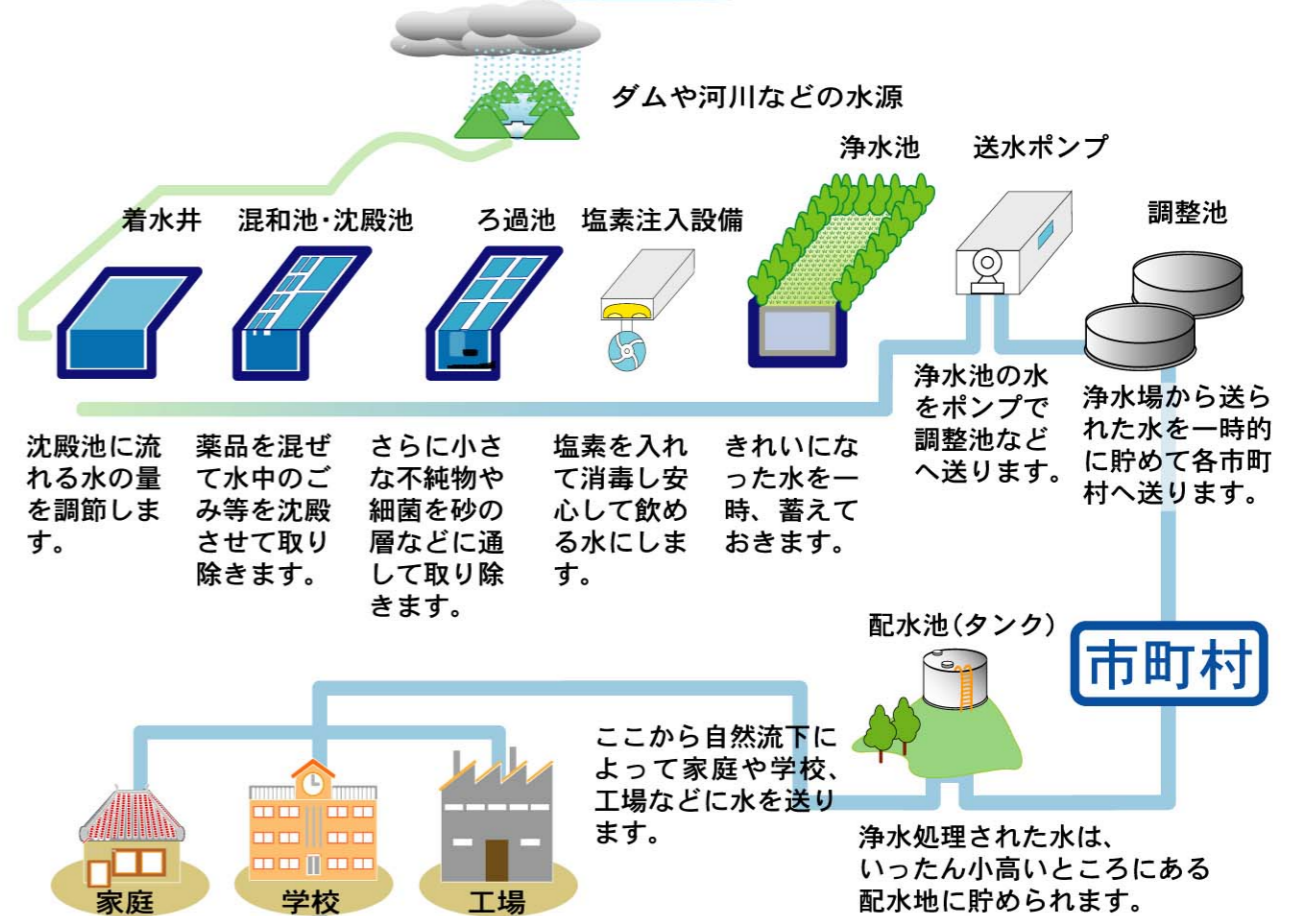
私たちは、水道の蛇口をひねるだけで、きれいな水を自由に使うことができます。沖縄本島では、中・北部の河川やダムなどから浄水場に運ばれ、その後、各市町村の配水地を経由して私たちの家庭・学校・工場へと届けられるのです。

県企業局では、引き続き「安全でおいしい水」の安定供給に取り組んでいきます。



県企業局キャラクター「水道マン」

水のながれ



<第4回沖縄の水デジタルフォトコンテスト作品募集>

県企業局では写真を通して県民の皆様へ「水」や「水道」と親しむ機会を提供することにより、暮らしに密接に関わっている「水」や「水道」の大切さについて再認識してもらうことを目的として、沖縄の水デジタルフォトコンテストを開催いたします。募集期間は6月1日～8月11日まで県内在住であればどなたでもご応募いただけます。皆様のご応募お待ちしております。

※コンテストの詳細は企業局ホームページで紹介しております。

<http://www.eb.pref.okinawa.jp/okimizu/index.html>

